

■東京大空襲・戦災資料センター 開館10周年記念特別展■

東方社写真部が記録した アメリカ軍の無差別爆撃



空襲被害を受けた雙葉高等女学校校舎（1945年4月頃、撮影者不明）
1945（昭和20）年4月13～14日にかけての大空襲で被害を受けた雙葉高等女学校の校舎の様
中央右に写るジャンヌ・ダルク像はこの後盗難にあった。これと類似する写真がアメリカ軍の無差別爆撃を批判する宣伝用印刷物に使用され

会期 2012年 2月18日(土)～4月8日(日)

会場 東京大空襲・戦災資料センター2階会議室

136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4 TEL: 03-5857-5631 FAX: 03-5683-3326 <http://www.tokyo-sensai.net/>

■主催 東京大空襲・戦災資料センター
■協力 日本放送協会

■東京大空襲・戦災資料センター 開館10周年記念特別展■ 東方社写真部が記録したアメリカ軍の無差別爆撃 会期 2012年 2月18日(土) ~ 4月8日(日)

東方社は陸軍参謀本部の下で1941年に設立され、対外宣伝雑誌『フロント』などを編集・発行していました。東方社の旧事務所と暗室を買い取られた方によって、大切に保存されてきたネガフィルム約1万7000点が、昨年、東京大空襲・戦災資料センターに寄贈されました。戦災資料センターでは研究所内外の研究者により研究会を組織し、科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金（基盤研究（C）」を受け、また日本放送協会の協力を得て、共同研究をおこなってきました。

今回の特別展は、67年間にわたって秘蔵されてきた500点以上の東方社撮影空襲写真の全貌



病院の焼け跡を片付ける学生（1945年1月、小山信吾撮影）
 空襲を受けた日本医科大学の病院跡で学生たちがベッドを片付けている様子。被害を受けた翌日に撮影された。



焼け跡での葬儀（1945年5月、光墨弘撮影）
 九段下付近くで撮影された焼け跡での葬儀の様子。あり合わせの材料で作られた棺と祭壇を前に弔問客が手を合わせている。この一帯は同年3月10日の東京大空襲で大きな被害を受けた。

を紹介すると共に、主要写真を初公開するものです。これらの写真には日本医科大学、慶応義塾大学、上智大学、雙葉学園、高井戸第四国民学校、根津神社、泉岳寺、京橋・銀座・有楽町・日比谷の繁華街、荻窪陸橋、海軍館、工場、民家など、1944年11月から約半年にわたる東京への空襲の被害、復旧作業の様子、焼け跡での生活ぶりが撮影されています。また、中国の香港・桂林における日本軍占領下でのアメリカ軍の空襲による被害写真も含まれています。また東方社撮影空襲写真と日本写真公社国防写真隊写真との比較・対照もあわせて紹介します。

東方社撮影空襲写真をとおして、アメリカ軍の無差別爆撃の被害の実相をより具体的に知り、その意味を考えていただければ幸いです。

■オープニング講演会■

日時

2012年2月18日(土)
 午後1～4時（開場 12時）

会場

東京大空襲・戦災資料センター 2階会議室

講師

井上祐子 京都外国語大学非常勤講師
 山辺昌彦 東京大空襲・戦災資料センター
 主任研究員・学芸員
 小山 亮 明治大学文学部専任助手

定員

当日先着100名様

■開館日
 水曜日～日曜日

■開館時間
 12時～午後4時まで

■休館日
 月曜日・火曜日
 ※3月9・10日は曜日にかかわらず開館します

■協力費
 一般 300円
 中・高校生 200円
 小学生以下 無料



The Center of the Tokyo Raid and War Damages

東京大空襲・戦災資料センター

136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4 <http://www.tokyo-sensai.net/>
 TEL: 03-5857-5631 FAX: 03-5683-3326